

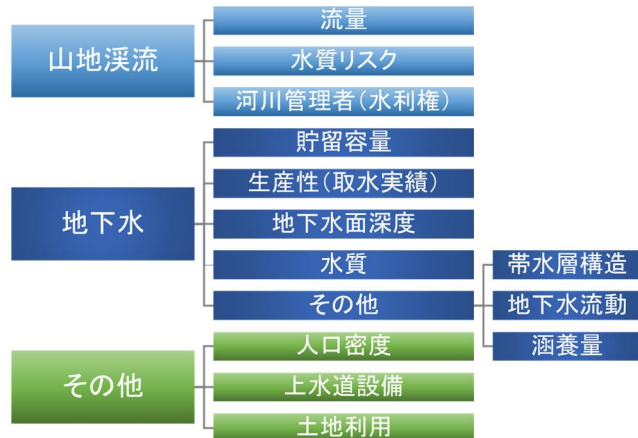
水資源利用・管理支援システムの開発

背景

地域の人口減少に対応した小規模自律型水道を市町村が検討するためには、水資源情報の見える化が必要

成果

1 水資源データベースの構築



3つのモデル地域で
水資源開発に必要な情報を整備

期待される効果

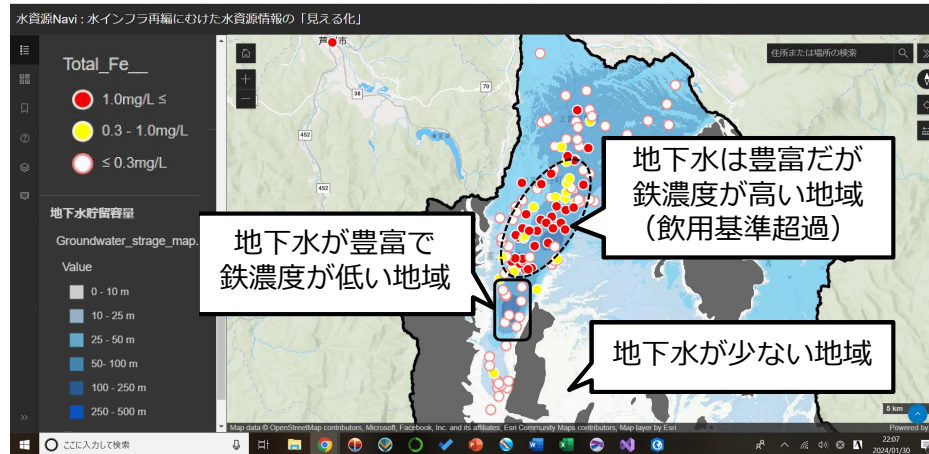
水資源開発の検討を地方自治体が主体的に行うことが可能
代替水源開発を含む再編シナリオのコスト推計に活用



地域の貴重な水資源：湧水

2 見える化システム「水資源Navi」の開発

地下水：「貯留容量」「水質」の表示例



地下水貯留量(m)：帯水層厚 (m) × 有効間隙率 (%)

山地溪流：流量・水質リスク



地下水面深度



水利権

